

e-ビーフNEWS 北の牧場から

August 2025

月刊情報誌
No.140発行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒080-0351
北海道河東郡喜望峯町字然別
北5線西25番地2
FAX 0155-40-7301

十勝は、猛暑日が7月中続き、少雨高温で砂漠になるような気配です。ここに来てやっと雨も降り35℃超えもなくなり安心。朝の気温も20℃そこそこ熱帯夜にならずに過ごせています。峠を越えたのか一時なのか思案するところですね

畑のデントコーンは早、穂を出し成長が止まってきました。干ばつのせいか、トウモロコシも身を守るために、早めに実を付けたようです。昨年、シロザやイヌタデに負けていた有機の畑は、今年は一歩抜きんできて勝っています。反2tしか取れなかった圃場は、貢献してくれそうです。

牛たちも猛暑日では、立ちんぼでハウハウ言っていました。このところ気温の低下と共に落ち着いてきました。今のところ1頭の事故もないです。残暑が来ないことを祈るばかりです。



活動のお知らせ

- 7/22(月) 事務局会議 シンポジウム開催要項・e-ビーふ認証制度改定案打合せ
9/15(月) 日本産肉研究会第36回学術集会 岐阜大学 第Ⅲ会場(応用生物科学部棟103) 定員100名
13:00~17:00 シンポジウムテーマ「今、国内の牛肉生産に求められていることは？」
【参加申込】
https://docs.google.com/forms/d/1bk_xJrEuW8wQ8jxR5H9NHeNnSLUSneHuSZdpljdOLI/edit
10/23(木) 第12回北海道肉専用種枝肉共励会
第22回資源循環型肉牛生産シンポジウム2025 北海道畜産公社 十勝工場

NEWSばか読み

- 農研機構 小型ドローン採算面積試算35ha6/30:利用が進む
- 閣僚会議 コメ増産に政策転換 価格安定対策は未定
7/2:主食コメ政策試行錯誤
- 農水省「食と農をつなぐアワード」今年度から始動7/2:
- 農産物輸出5月が好調 緑茶倍増、牛肉5割増追加関税前
7/3:トランプ次第
- アグリスマイル BS資材 全国で実証実験開始7/4効果検証
- 高温少雨各地で異変、野菜変色、作物枯れ、牛体調不良
7/5:変異が続く
- 老舗スーパー吉池「備蓄米、輸入米取り扱いませぬ」張り紙掲示
7/7:小売りの訴え
- 肥料市場が微増 主食米作付け増7/8:
- 米国 対日関税25%通告 輸出牛肉51%関税に7/9:相互に関税を
- 日中動物衛生検疫協定が発効 24年間ぶりに牛肉対中輸出が再開
7/12:
- 25年主食米56万t増 生産量735万t需給緩和進む
7/15:価格との取り合い
- 豚相場が高騰 900円超えの最高値 暑さで減頭7/17:牛肉に近づく
- 訪日外国人上期2000万人超え 最速7/17:
- 帝国データバンク 酪農業倒産上期ゼロ 乳価上げ経営努力7/18:でも
- 飼料米作付面積が半減5万ha 主食米に転換7/19:ブランド化に限界
- ドイツ国際研究グループ 放牧牛ヤナギ葉食有毒ガス減
7/19:自然で消化
- 熊本畜産流通センター ブランド和牛「肉ガチャ」好調7/22:自販機有効
- 農水省 コメ作況指数のずれ認める くず米名称変更
7/23:統計習字の信憑性
- 中酪 生乳受注量6月受託 北海道3.8%増ほか0.9%減
7/23:道内生産好調
- オルテック 世界飼料生産量が1.2%微増14億t 最大の中国微減
7/23:家畜増
- 日米関税交渉合意 MA枠内米国産輸入75%増へ 牛肉26%
7/24:時勢にのって
- JA全農・全酪連ほか福島に共同乳製品製造会社設立 本州最大
7/26:乳用会社は足場強化
- ファーマーズHD(岡山) 民事再生申請 飼料費増が影響7/26:一角
- 帯広農高×満寿屋 エコフィード豚ソーセージ使用パン開発
7/28:食育一貫
- 野菜 記録的な猛暑の高温干ばつで品薄高7/29:温暖化対応農業を
- 欧州 記録的熱波で山火事頻発 農業に影響拡大
7/29:着実な温暖化一段と
- 網走 黒毛和牛グラスフェッドで「廻」ブランド化8/30:チャレンジ
- コメの民間輸入が昨対40倍に7/31:自分の首が絞まる

東京直近NEWS(7/29 Shi-REPORT)

ホルス

市況相場は上場少なく上げ基調にて推移、産地相対相場も上げ基調継続しており、国産牛価格の底上げ状況。

頭数の慢性的不足から産地メーカープレ値での取り合い、買付建値相場上昇中。

生産者も生産コスト上昇していることから強気な交渉状況。

販売面も環境は不需要期だが、不足感強いめ引き合いは強く切落し中心に赤身モモウデ、バラ系さらには冷凍アイテムも問合せ多い。

年内は大幅な頭数回復は見込めず、相場高値安定の状況はしばらく変わらずか。

経産牛

北海道内の出回り頭数の減少基調は継続課題。

北海道外(本州)の地域も減少傾向深刻で、道内市場への買参人は日々増加中しており生体輸送費コスト上昇でも、集荷課題クリアの意図から購買欲は強気変わらず。

依然として相場は高値維持上昇が続いている。

販売面もパーツ不足感強く、赤身モモ、バラ系ロインも余剰無し。

加工原料としての冷凍アイテムも不足しており、バラ系やモモ赤身原料確保に苦慮し不安感強まる。

挽材はパーツよりも深刻な不足状況続いており目先の在庫も底をついてきている。定期定量販売分も不安感強まっており、この先の情勢が読めなくなりつつある。

